

[発行] レイカディア大学同窓会大津支部

目次

2

28年度のスタートにあたり
(岩田支部長)

3

28年度
支部・本部総会報告



28年度支部総会

6

サポート隊ボランティアの日

7

各部会活動 文化部・研修部・健康部・地域活動部

11

小学校応援・まちなか応援活動記録

12

地域ミーティング

14

会員投稿 エッセイ、俳句・川柳
わが町の歴史(石山地域)

20

会員動向・編集後記

主な行事

▶生涯学習フェスティバル

日時：平成28年9月22日(木・祝) 10時～15時

場所：皇子が丘公園体育館

▶レイカ大津の集い…37期新入会員歓迎会を兼ねて

日時：平成28年10月25日(火) 13時～16時

場所：大津市生涯学習センターで開催

皆様のご参加をお待ちしています！

28年度のスタートにあたり

支部長 岩田 和彦（32期 陶芸・志賀）

5月9日に新体制での初回役員会でスタートすることができました。小生は不慣れ不行き届きでしたが、特に脇田新事務局長をはじめ事務局員の皆さんには準備に多大なご尽力をいただき深く感謝致しております。また佐瀬前支部長よりも手厚いきめ細やかな引継ぎをいただきました。初めての広報部会では、陶芸の大先輩であり大塚広報部長より「かけはし」の巻頭文を投稿せよとのご指示を受け、最も不得手なことを綴ることになりました。

卒業後、同窓会に入会し2年目で幹事役・3年目で理事と副支部長兼務・5年目で支部長と想いもよらないスピード昇進（現役時はありえない！）も「役は上がれどギャラはなし！」これでまたぞろ陶芸の時間が減り、腕前が上がらないことの言い訳材料ができました。

元々、訳あって同窓会には入らないつもりが、在学中に「大学の存続騒ぎ」があり30期卒有志による存続運動を目の当たりにし激しく心を打たれました。じっとしておればよいものを、その意を継ぎ第3期サポート隊長を務めました。サポート隊調整会議には故増田元支部長に毎月ご出席いただき、その恩義に報いたく入会した次第です。きっと増田さんは天国より「ようお前のような者になったなあ！」と嘆いておられることと思います。

皆様のご努力により同窓会本部の中ですべての面で卓越している支部であり、歴代の輝かしい支部長には遠く及びもしますが、私がこの大役を会員全員の「お知恵」と「お力添え」をいただけることを念じ、活動の運営に邁進する所存であります。

4月20日に支部総会を無事終えましたが、議案書の「28年度事業計画」にも記されておりますとおり、課題は山積です。

●毎年新会員は多く入会されますが、2年目での退会傾向

●各行事に積極的に参加する会員と、殆ど参加しない会員に分かれてきている傾向

これらの課題に対して、会員の潜在ニーズを各部会や役員会で調査・検討していくことが必要になっています。「**会員確保**」と「**活動の参加者増**」を図るために、情報の双方向での受発信・女性の登用・役員の活性化・サポート隊との連携強化・大学との課題共有・在校生への参加呼びかけ等を、スムーズに実行できる組織の在り方と、心の通い合える温かみのある風土作りで支えあえる組織を標榜致しております。

会員には、仕事・趣味・地域貢献・看病などで忙しい方々、療養中・ご年長・ご不在などで動きづらい方々、仕事と両立でも女性登用の期待に応じている人・遠方まで同期の方と活動をされている女性の方々、ご年長の中には地域活動の礎を築き自転車で来られる人、年間200日以上もご近所の街頭で植栽をされている人・スイカ作りの指導で有名な人・一人住まいで剪定活動に積極参加される人・遠方のお寺に転居されても会員を続けておられるご住職の人など多士済々です。

一方「何もすることがない」・「生きがいにそぐわない」等で去られる方もおられました。人それぞれだとは思いますが、役員は配布物をお届けの際に「お声をかける」「ご様子をお伺いする」など、コミュニケーションの工夫で何かが見えてくるように感じます。

同窓会の位置づけは残念ながら親睦会的要素が多いとの評価もあり、本部もこれらを払拭するために地域活動部会を新設することになっています。ですが活動の成果を目的にするものではありません。皆様方のご活躍の様子を知り、それを基にみんなが何かの活動でふれあい、支えあえる拠り所として、大きな「かけはし」に成ることを願うばかりでございます。

平成28年度 レイカ大津支部総会報告

第32回レイカディア大学同窓会大津支部総会は、平成28年4月20日（水）13時30分から69名の出席の下、滋賀県立長寿社会福祉センター大教室において開催された。

中央地域の安田 照美さんの司会で開会、最初に昨年度逝去された会員の方々 服部 駿典様（田上地区）木村 武司様（日吉地区）水島 義信様（瀬田南地区）増田 泰男様（堅田地区）の4名のご冥福祈って30秒間の黙祷、レイカディア讃歌の斉唱が行われた。次いで中央地域の小野 英明さんを議長に選出して、議事の審議に入った。

議事内容は以下の通りでした。詳細は28年度大津支部総会の議案書をご覧ください。

1号議案：27年度事業報告、2号議案：27年度収支決算の承認、3号議案：会則の一部改定、4号議案：役員の改選、5号議案：28年度事業計画、6号議案：28年度予算。活発な質疑応答が行われ、全て賛成多数で可決承認された。

佐瀬前支部長の退任の挨拶がなされた後、司会者より長時間にわたる熱心な討論がされたことに感謝の辞を述べ、閉会宣言が行われ15時30分に終了した。



平成28年度 本部総会報告

5月26日（木）13時から28年度本部総会が滋賀県立長寿社会福祉センター大教室で行われた。大津支部からの30名を含め91名の会員の出席があった。開会の言葉、物故者への1分間の黙祷、レイカディア讃歌斉唱、堀江会長挨拶、長寿者慶祝（白寿・米寿の30名の方が対象で10名の方が出席）、来賓祝辞（県社協人材部門課長：福井氏、県健康医療福祉部課長補佐：片山氏）と進み、議長に中部支部の居原田氏が選出され、議案の審議に移った。六つの議案は原案通り可決され、新役員の紹介があり、総会は15時前に終了した。

15時から記念講演「SNS（ライン・ツイッター等）の普及と留意点について」が行われた。講師は県人権センター地域支援課：松浦広明氏で1時間余り熱弁を振るって頂いた。事例に基づく説明に、シニアにとっては当世の身近な問題として真底の怖さを実感することになりました。



大津支部の米寿慶祝対象者は4名、内2名の方が出席され祝詞と記念品を受けられた。

左：山下克己様

(23 期文・平野)

右：狩野貞義様

(20 期文・瀬田北)



堀江同窓会長の挨拶

記念講演の
松浦広明氏



熊本地震義援金の報告

4月20日支部総会及び5月9日役員会で皆様方より、金24,587円をご寄付いただきました。



5月16日に大津市社会福祉協議会を岩田支部長が訪れ、常任理事・事務局長 川端 豊様と総務課 坂下 由紀子様にお受け取りいただきました。滋賀県共同募金会を通じ、被災地へ送金されます事を皆様にご報告いたします。

皆様方のご協力を賜り誠にありがとうございました。みなさまの温かいお志により被災された方々の早期復興をお祈り申し上げます。

「故増田泰男氏追悼」

佐瀬 章男 (25 期 生活・瀬田北)



2 年前に大津支部の支部長を交代した故増田泰男氏とは、色々な思い出がありますが、個人的な付き合いではなくあくまでも同窓会大津支部での活動が中心です。彼は大津支部長を退任後、同窓会本部の改革を進めようとの強い意志で同窓会本部の事務局長を引き受けて、活動を始めましたが志し半ばで病に倒れ、昨年春に事務局長を辞任したことはきっと心残りであったと推察しています。私は 7 年前に瀬田地域・瀬田北地区の幹事を引き受けて、大津支部の役員に加わったのですが、6 年前に梅景さんの後を受けて瀬田地域の副支部長に選任されてから、支部の仕事で彼との関わりが強くなったのです。

私は最初の 2 年間は副支部長と広報部長と 2 役をしていましたが、この関係で彼には色々と相談しました。そうした場面ではどの場合でも真面目に真剣に相談に乗ってくれて、アドバイスを貰った記憶があります。大津支部をこよなく愛して頑張っている支部長を微力ながら支えていく必要を感じた期間でした。

4 年前に前任者の都合で事務局長を引き受けてくれと頼まれた時は、わたしも「どうしたものか」と迷いましたが結局説得されて引き受け、瀬田の副支部長と事務局長と広報部長の 3 役をこなすことになり、彼の強い説得力が無かったらこの依頼は断っていたと今でも思っています。

事務局長を受けいれてからは、益々仕事が増えてバタバタしましたが、瀬田の山田さんや山口さんを始めとした瀬田地域の役員のバックアップがなければ、こんな芸当は出来なかったでしょう。彼は私がうっかり忘れていた事項でもソフトムードで依頼を発信し、決して怒る事は有りませんでした。事務局長と支部長は支部の活動を推進するうえで、頻繁に連絡を取り合う必要があり、そんな時も何時も私のミスに対して寛大に対応して貰いました。

彼は支部の活動では文化部の活動にとっても熱心で、パソコン同好会、絵手紙クラブ、川柳クラブで活動していましたが何事にも器用で素晴らしい作品を生み出していました。川柳の作品は新聞紙上で年間優秀賞にも選ばれたほどで、やはり何事にもセンスがあったのだと思いました。絵手紙の作品も沢山残っていて、ご自宅を弔問で訪れた時には奥様から沢山の素敵な作品を拝見させていただきました。自然を愛して作品にも自然の作品が多く、元気な時は野菜づくりなども仲間と一緒に取り組んでいたと聞いています。

大津市生涯学習センターには、活動をバックアップする「チャオ」という会がありますが、荒木博美さんと一緒にこの会で活動していて、生涯学習にも熱心でした。組織の統括責任者としてのリーダーシップ、統括力、指導力、包容力、説得力等に優れていました。

しかし何と言っても支部長交代の時の彼とのやり取りが、今でも記憶に新しい気がします。実は私も色々とボランティア活動をしていて多忙で、支部長就任は強く断ったのですが、何回かのやり取りで結局説得されて就任した次第です。任期満了で辞任した暁にはどんな挨拶をしようかと楽しみにしていたのですが、その時を待ってくれずに他界されました。きっと天国から大津支部の活動を見守ってくれているでしょう。

故人の遺志に応じてレイカディア大学同窓会大津支部の活動をこれからも活発に発展させましょう。紙面を借りて心よりご冥福をお祈り致します。

合掌

サポート隊 希望が丘公園「森のボランティア」に参加

近藤 修 (35 期 園芸・田上)

サポート隊主催の「ボランティアの日」が5月24日(火)に希望が丘文化公園で行われました。昨年までは草津市での外来魚駆除の魚釣りでしたが、今年初めて「森のボランティア」を実施しました。好天に恵まれ、今回初めて米原校とのコラボレーションで140名の参加があり、文化公園側スタッフも加わり、盛大に実施されました。大津支部ではサポート隊からの参加者が多く、支部経由での募集の参加者は8名でした。

今回のボランティア活動は文化公園スポーツエリアの3ヶ所の作業場で伐採木、剪定木の運搬の仕事です。足場も悪い不整地での作業で、加えて大変暑い中疲れた人も多かったようです。適時水分補給の休憩も取りながら、約1時間半全員協力で多大な成果をあげました。希望が丘公園側からは大変な感謝を頂きました。

午後からは待望のバーベキュー懇親会を7つのサイトに学科別チームで実施。一人約200gのお肉と野菜、おにぎりで空腹を満たし大いに歓談で盛り上がりしました。

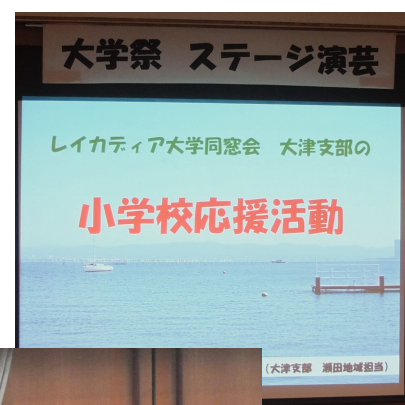
終了後のアンケートでは総合満足度87%で、疲れた人が多い割りに「参加して良かった」「楽しかった」との意見を頂きました。次回以降「森のボランティア」「外来魚駆除」希望という意見もありますが、有意義なイベントを期待したいと思います。



レイカディア大学祭の案内

- 日時：8月18日(木)10時～15時
- 催し物：ステージ演芸、地域活動事例発表、野菜即売会など
 - ★在校生の展示発表は8月17日～19日の期間、開催しています。
 - ★大津支部会員も大会運営や出演で協力しています。

写真は昨年の大学祭における大津支部出演者の模様



[部会便り]

「健康部」

～たのしく なかよく 元気よく！～

第2回グラウンド・ゴルフ大会報告

5月30日(月)午後1時15分から矢橋帰帆島公園で第2回グラウンド・ゴルフ大会を開催しました。3月、4月と雨で流れ、この日も朝から雨でした。3度目の正直で9時に雨が上がり何とか実施することが出来ました。

参加者は29名、コースは芝生の小山、バンカー有りの難しいコースばかりです。それでも優勝者はホールインワンを3回も出されるなど、9名で12回出ました。平均年齢は75.9歳、80歳以上の方が6名参加され、その中の一人藤井さんが準優勝されました。滋賀県は健康寿命が女性でワーストワンの72.37歳(男子で18位・70.67歳)ですが、参加されている方々の動作を見ると全く感じられません。ぜひ皆さんもグラウンド・ゴルフを楽しみませんか、初心者の方、道具を持っていない方も大歓迎です。みなさんのご参加をお待ちしています。



優勝：上野さん(瀬田一里山)、準優勝：藤井さん(瀬田北)、3位：岸場さん(瀬田)



28年度健康部会の活動計画

第1回ディスコン大会 7月29日(金)13時～ 瀬田公民館3階

上記を含め、今年度もディスコン3回、グラウンド・ゴルフ4回を予定しています。多数のご参加をお待ちしています。

「文化部」

～趣味をふかめて たのしく学ぼう！～

平成 28 年レイカ大津支部作品展

会期：昨年同様、桜咲く季節の4月8日(金)より10日(日)まで3日間開催

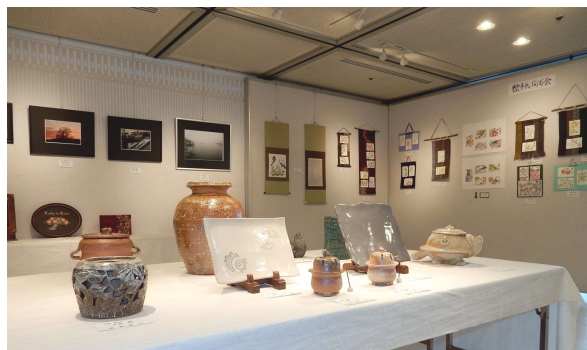
場所：生涯学習センター1F ギャラリー

今回の出展者は「ほのぼの絵手紙サークル」9名と個人31名の合計40名50点の力作を出品して頂きました。このうち3月末にご逝去された元支部長増田泰男氏の遺作の絵手紙を展示いたしました。また、多くの方が出品されることを期待していた35期・36期の方は5名でした。昨年度に比べ出展者数・作品数とも減少し寂しい作品展でした。

膳所公園では多くの花見客もありましたが、作品展へのお運びが無く、来場者は昨年を下回る約240名でした。ご来場の方々にはゆっくり鑑賞頂くことができたことと思います。

開催の初日にZTVの報道取材があり展示会の様子はその夜に放映されました。また、レイカディア大学同窓会のホームページ担当者の取材もありホームページに掲載されておりますのでご来場できなかった方々はご覧頂ければ幸いです。

今回ご出品頂いた皆様へお礼申し上げます。また、出品されなかった方につきましては是非とも次回の出品を宜しくお願い申し上げます。



28年度文化部会の方針と計画

会員の皆さんと意思疎通を図り「和」を以て取り組んでいきたいと思ひます。

1. 作品展の開催（1回／年）と新規出展者への声掛け運動
2. 文化部サークルへのバックアップ
3. 文化部サークル等の市民開放についての検討（含、出前活動）

「研修部」

～参加して 味わおう 知る楽しさを～

平成 27 年度研修部第 5 回研修

春の栗津・膳所 歴史ハイキング

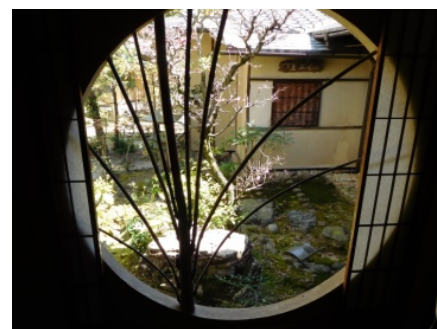
3 月 22 日（火）朝方少し風は冷たいものの、春の日差しが降り注ぐ絶好の日和に、レイカ大津研修部主催の「春の栗津・膳所 歴史ハイキング」が 34 名の参加の下、開催されました。

JR 石山駅に 9 時集合、全員にコース地図と簡単な説明書きを渡し、今井兼平の墓、若宮八幡神社、杉浦重剛生誕地、本多神社と膳所藩資料館、蘆花浅水荘、篠津神社を巡り、最後に膳所神社で解散しました。解説は「秋の坂本 歴史ハイキング」と同様、石山地域の永尾さんをお願いしました。

最初に栗津で戦死した木曾義仲の後を追い、自刃した今井兼平の墓を訪ね、続いて仁徳天皇を



祀る若宮八幡神社、膳所藩出身の教育者で、若い日の昭和天皇のご進講を務めた杉浦重剛生誕地、膳所城歴代藩主を祀る本多神社と膳所藩資料館、明治から昭和にかけての京都画壇の巨匠、山元春挙の別荘であった、蘆花浅水荘（記恩寺）を訪ねました。特に、本多神社に併設された膳所藩資料館は現在非公開となっていて、ここを特別に拝観させていただき、貴重な文物を見



ることができました。

蘆花浅水荘は山元春挙の孫の山元寛昭氏、春挙の弟子の三宅鳳白の子息の案内で約 1 時間かけて、書院から竹の間（窓、床の間、書棚など全て竹で設えた部屋）画室などを見学し、かつては湖に続いていた庭園を鑑賞し、記念撮影を行いました。

最後に素戔鳴尊を祀る篠津神社、豊受比売命を祀る膳所神社を巡り、12 時に解散をしました。今回も大津の歴史の一端に触れ、感激したハイキングでした。

28 年度研修部会の活動計画

目標＝アンケート結果をもとに検討し、下記の項目を実現させる

1. バスツアーの復活
2. 健康講座と救急講座の実施
3. 滋賀県の文化財の再確認
4. 県内外の企業見学
5. その他〔美術館・博物館の見学など〕

活動計画

回数	時期	担当地域	内容
第 1 回	6 月 24 日	中央	市民病院健康医療公開講座「下肢静脈瘤の症状と治療について」
第 2 回	9 月	瀬田	バスツアー：「大阪ガス」の見学を中心に
第 3 回	11 月	石山	歴史探訪：幻住庵と石山寺など紅葉を見ながら実施できるところ
第 4 回	1 月	瀬田	防災と救急講座：県防災センターの見学と応急措置の講座
第 5 回	3 月	比叡	歴史探訪：近松寺から三井寺又は小野・和邇など桜見学と共に

日程や内容については、今後具体化してお知らせ致します。

「地域活動部」 ～無理しない！ 出来る時に、出来ることを、出来る範囲で！

仲間となら、さらにもう一步踏み出せる

一人でもできる----

でも仲間と一緒に、もっと充実した時間が過ごせる

気楽に始められて、長く続ける活動とは、その魅力は？

- ★ 生涯スポーツで楽しい活動を（健康部）
- ★ 趣味を生かして文化活動を（文化部）
- ★ 生涯学習で研修活動を（研修部）
- ★ 情報発信活動で（広報部）
- ★ ボランティア活動で（地域活動部）

私達は、お互いの親睦をはかりながら、諸活動を通して地域の社会貢献活動を行っています。シニアが地域社会を支える側に立って活動する幸せ、シニアの「生きがい」づくりを感じながら有意義な人生を！

会員の皆様、在校生、サポート隊、一般市民の皆様へ

仲間たちが喜んでお待ちしております。是非仲間作りに、今一步踏み出してみてください

《平成 28 年度 活動計画》

今年も、昨年度の門間部長の後を引き継ぎ、昨年と同様に活動を行っていきます。

地域活動部のメンバーを中心に、会員の皆様はじめ、私達の活動に賛同して頂ける皆様方と社会貢献活動を推進していきます。

◆まちなか応援活動

1. 「大津まちなかスッキリ土隊」

違反広告物を除去する活動で、大津市都市計画課の講習を受け、推進員身分証明書交付を受け、身に付けて活動をする

- 1) 6 月 大津市主催の連絡会議（代表出席）→ 9 月一斉除去活動実施
- 2) 各地域（4 地域）毎に年 1 回実施
- 3) 新会員を対象とした講習会実施 11 月予定



2. 「大津祭ボランティア」

300 年の伝統ある祭りで、地域住民として猩々山などを中心に「大津祭曳山連盟」と協議しながら応援活動を行う（曳山の綱引き、販売係、昼食会場、有料観覧席など）

- 1) 7 月上旬 会員、在校生に参加募集→ 7 月末人数把握
- 2) 8 月上旬参加者名簿提出（連盟、猩々山など）
- 3) 9 月連盟説明会（代表出席）、曳山決定通知
- 4) 10 月 2 日（日）：山建て、10 月 8 日（土）：宵宮、10 月 9 日（日）：本祭り



3. びわ湖岸の「ヨシ刈り」

ヨシ保全事業として大津市環境政策課と地元実行委員会（自治連合会）が平成 2 年度から取り組んでいます。いずれも冬季実施で 11 月以降に実施日決定→各地域市民センターで情報収集。

①堅田米プラザ ②石山蛸谷 ③雄琴市民ヨシ刈り ④下阪本 ⑤膳所公園など

4. 「囲碁・将棋対局」出前教室

大津市 社会福祉協議会より依頼で現在は 3ヶ所で実施

①コンソルテ瀬田（介護付老人ホーム）②大津老人ホーム（滋賀同仁会）③福寿荘（特別養護老人ホーム）

5.NP0「瀬田川リバプレ隊」応援協力

瀬田川左岸京滋バイパス下の堤防を拠点にした「コムラサキシキブ等の花壇づくりと周辺整備」毎月10日10時～

◆小学校応援活動

各地域の副支部長が中心になって小学校応援活動を実施しています。その活動を支援し、活動記録の収集、まとめをお手伝いします。

◆各地域の相談・窓口役（責任者：山口玄洞 Tel545-6156）

ボランティア保険・活動などについて随時受付します。

比叡地域：奥田耕治 Tel573-5462 中央地域：澤辰男 Tel522-1929

石山地域：木本修二 Tel533-1714 瀬田地域：石飛博高 Tel543-3966



小学校応援活動実績表 平成28年度4～5月分

地域	応援項目	活動学校名	校数	参加者数	回数	摘要	
						内在校生	内協力者
比叡	剪定・同補助	仰木の里 堅田、坂本	3	30	3	2	4
	図書管理	伊香立、仰木の里 木戸、堅田	4	26	4		
	小 計		4	56	7	2	4
中央	図書管理						
	小 計						
石山	剪定・同補助	南郷	1	8	1		
	縫製応援						
	小 計		1	8	1		
瀬田	剪定・同補助	瀬田北幼	1	20	1	2	7
	校庭花づくり	瀬田東	1	25	4	8	4
	図書管理	瀬田南	1	20	14		6
	小学校応援説明会など			23	1	2	1
	小 計		3	88	20	12	18
合 計			8	152	28	14	22

まちなか応援活動実績表 平成28年度4～5月分

応援項目	場所	参加者数	回数	摘要	
				内在校生	内協力者
囲碁対局	コンソルテ瀬田	7	2		2
	そよ風	1	1		
将棋対局	大津老人	2	2		
	福寿草	2	2		
瀬田川リバプレ隊	瀬田川京滋BP下左岸	3	2		
合 計		15	9		2

瀬田地域「ご苦労さん会」開催！

勝田 幸三（29期 文芸・瀬田月輪）

27年度4年目を迎えた「小学校応援活動」及び各種の社会貢献活動に多くの皆様の参加をいただきました平成27年度締めくくりの行事として、3月26日瀬田東市民センターにおいて「ご苦労さん会」を開催しました。

「ご苦労さん会」は瀬田地域会員のみならず、大津支部の他地域の皆様や日頃瀬田地域と一緒に小学校応援活動をやっている在校生、市民の皆様、また日頃お世話になっている、大津市社会福祉協議会からも参加いただきました。趣向として、そば打ち体験（講師 村中治之さん）と料理教室（講師 千田素子さん）を全員で体験し、そば・料理を食べながら懇談をするという内容にしました。

そば打ちは1テーブル5人前を3人ずつ6テーブルに分かれて水回し、練り、のぼす、たたむ、切るなどの一連の作業を村中講師の手馴れた指導のもと皆さん懸命に挑戦しました。練りは粘土の練り方の菊練りと同じ技法ということで、陶芸科の方は上手いものです。最後の切る作業は難しく、かなり不揃いのそばが出来上がりました。

料理は 鶏つくね、マグロの山かけとろろ、自然薯サクサクサラダ、炒りむかご、とろろ汁とレイカ瀬田山口さん提供の自然薯をたっぷり使った自然薯づくしが、千田講師の指導で揃いました。本日の参加者は大津市社協の日花京子さん、村中、千田講師、市民3名、在校生2名、瀬田以外のレイカ大津会員7名、レイカ瀬田15名の合計30名でした。

料理が完成し、そばが茹で上り、会食の準備が整ったところで全員席に着き、冒頭大津市社協の日花さんより、日頃のレイカ大津の社会貢献活動に対するお礼と今後の活動に対する期待の話をいただきました。

そしてお待たせの自然薯の山かけそば、自然薯づくしの料理をたっぷりいただき、村中講師によるそば打ちのあれこれ、千田講師による本日のレシピ紹介、参加者によるスピーチなど和やかなうちに会話も弾みました。料理の後に比叡地域の渡邊愛子さん達によるコーヒーサービスがあり講師の千田さんの差し入れの桜餅と共に美味しくいただき、参加者一同大満足のひと時でした。



水回し、練り、のぼす、たた



比叡地域ミーティング開催

奥田 耕治（33 期 園芸・志賀）

5月13日（金）に比叡地域の地域ミーティングを開催いたしました。世話役の方々のご尽力で比良山麓の隠れた旧跡である「百間堤」への健康ウォーキングを兼ねて、すがすがしい5月の新緑と青空の下楽しく歩かせていただきました・・・との予定でした。

しかし現実には、世話役のお1人はどうしても抜けられないボランティア活動があり、もうお1人は体調不良で急遽欠席され、さらにもうお1人は道案内で、結局、私は世話役の方が予約されていたお弁当の引き取りや昼食場所への配達を引き受けましたので、参加された皆さんと歩きながら親交を深めることが出来ませんでした。ただ、昼食場所ではゲームや会話を通じて参加いただいた方々の人となりに触れることが出来て、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

初回である今回は伝達方法が不十分で参加者が少なく、いささか寂しい参加者数でしたが、秋にもう一度形を変えて開催しようという意見も出ましたので、出来るだけ多くの方が参加できる企画にしてみたいと考えています。ご参加いただいた皆様お疲れ様でした。決算は339円の赤字で、どうしたものかと相談したところ「細かいことを言うな」「それくらいは・・・」「副支部長なんだから太っ腹なところ見せろ」等々。いや、そんな問題ではなく、とほつ。



レイカディア大学 39 期生募集

●学科別募集定員(草津校)

園芸学科(50名)、陶芸学科(25名)、びわこ環境学科(25名)、
地域文化学科(25名)、健康づくり学科(20名) 合計 145名

●修業年限：2年間(平成28年10月～平成30年9月)

●授業料：各学年 前期 25,000円、後期 25,000円

●入学願書受付期間：平成28年6月1日～7月22日

●問合せ：草津校・077-567-3901

★皆さんのお知合いの方に声かけをお願いします



園芸学科(草津校・米原校)



陶芸学科(草津校)



びわこ環境学科(草津校)



地域文化学科(草津校)



健康づくり学科(草津校・米原校)

[会員投稿]

スリル&スピード命の巻

小野 英明 (31 期 スポレク・皇子山)

3歳のころ自宅近くの山に踏み入り、大搜索をして発見されたい。小学1年の時に一人で近くのため池に泳ぎに行き、水に浸かって帰宅したことがあった。小学4年の時に大人用自転車で山道に分け入り、坂道で失速して谷底に転落し、岩ばかりの川底の隙間の水たまりに着水し、命拾いをした。その頃は下校時に火の見櫓の鉄塔に上り、遊んで帰るのが日課であった。川岸に竹が生えていたので、上ると竹がしなり向こう岸へ渡れると予測し、上ったらひどい目にあった。自宅の縁側から近くの柱に飛び移ったら、母と姉が目丸くしてびっくりしていた。



中学からは陸上部である。秒を常に意識する呪縛は未だに解けない。高校時代は通学時に、川幅 50m ほどの財田川にかかる幅 10cm の木製の欄干の上を歩いて通学した。大学卒業式の直後、記念に校舎の屋上の外壁の上を歩いて一周した。就職と同時に大型バイクを購入し、早速夜の国道でスピード実験した。バイクが乗用車をごぼう抜きしている状況は危険極まりないが、本人は案外余裕である。職場の倉庫にロープを張り綱渡りの練習をしたが、これは予想以上に難しかった。投げナイフの練習を毎日していたら、ナイフが顔に跳ね返りとっさに身かわした。TV のアンテナの向きを修正するために屋根に上がり、跳び下りた。若いころ打ち込んだのは自転車ロード競技である。あれほどの距離を疾走しながらなんと一度も転倒しなかった。今思えば奇跡である。単身赴任中の 50 歳のころ、休日は富士山麓の原生林で木登りの練習をした。圧巻は、31 歳の 2 月 28 日。陸上自衛隊第 12 師団武装障害走になんと優勝したのである。選手兼監督として半年間の合宿を経て、わが肉体能力の頂点の時期であった。クロスカントリー走、射撃、跳躍等まさに猿飛佐助もどきの旬の時期であった。わが生涯最高級の体験である。

55 歳ころまでは駅の階段は 3 段跳びで走り下りていた。それが 60 歳頃には 2 段跳びになり、今では常人と変わらない。それでもホームから踵を線路側に踏み出して揺すり、アキレス腱を伸ばす動作は未だに繰り返している。

(半年前のこと、県立体育館で同世代の男性曰く「私は器械体操をしていたのでバランスだけはいいんですよ」吾輩むきになって曰く「今の言葉は聞き捨てならぬ。勝負しようではないか」結果は勿論自明の理。「器械体操で鍛えた人間と橋の欄干を歩いて真剣勝負で鍛えた人間と一緒にされたくない。文句アッカ!!」。妻曰く：無事これ名馬。髪長子供老人とはあなたのことね)

東日本大震災から5年目を迎えて

堀口 唯子（26期 生活・日吉）

今回のテーマである東日本大震災について様々な思い出を回想していた最中に、熊本地方で大地震が発生し、あらためて自然災害の恐ろしさを再認識させられました。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

光陰矢の如しとは申しますが、東日本大震災が平成24年3月11日午後に起きてから、早や5年が経過しました。阪神淡路大震災からも今年で21年目を迎えましたが、いずれの地震も大きな揺れによる被害とともに、阪神では大火、東日本では大津波によって多くの人命が奪われました。情報社会である現代では、被害の状況が即時にテレビ中継され、未だにその光景が脳裏に焼き付いています。黒い津波が家や車を押し流す冷酷な映像には声を失ったものでした。あるご夫婦が町を歩いていたときに、突然の地震と津波に遭遇されました。状況もわからないままに避難されましたが、大津波に遭遇され、一緒に行動する間もなく、奥様は大きな木があったので、それにつかまり助かっておられますが、ご主人とは別れてしまい、後日亡くなったことを告げられました。奥様は自分だけが助かって申し訳ない、と罪悪感を未だに持っておられるのです。親しい身内を失った方は多くいらっしゃることで、行方不明の2,561人の方を含め、あらためて犠牲になられた方々のご冥福をお祈りすると共に、復興に努力された方々の並々ならぬご努力に深く敬意を表したいと思います。ただ、復興はまだまだ途上であると新聞やニュースで伝えられています。すべての方が、以前のような暮らしに近づけるよう、関係各位のさらなるご努力をお願いしたいと思います。

復興に当たっては、全国からボランティアが駆けつけ、片付けなどのお手伝いをされているとのことでした。現在、熊本でも多くの方が支援されています。被災者のことに思いを馳せ、手弁当で汗を流す方々には本当に頭が下がります。どうか身体に気をつけて頑張ってくださいと思います。

震災復興を支援するため、ボランティアとともにチャリティソングも一役買ったと思います。東日本大震災では「花は咲く」という名歌が、被災者のみならず暗い世相にうちひしがれている国民に勇気と希望を与えました。作詞は仙台市出身の岩井俊二さんで「この歌は震災で亡くなった方の目線で作りました」と、また同市出身で作曲・編曲を担当した菅野よう子さんは「100年経って、何のために、あるいはどんなきっかけで出来た曲か忘れられて、詠み人知らずで残る曲になるといいなあと思っています」と語っています。また秋川雅史さんの「千の風になって」、臼井真さんの「しあわせ運べるように」は阪神大震災や中越地震の復興曲で、今でも歌われ続けていますし、復興曲ではありませんが杉本竜一さんの「ビリーブ」も被災された方々に勇気を与えた歌として広く愛されています。最近、嵐が歌う「ふるさと」を趣味のよし笛で練習しています。熊本県出身の小山薫堂さんが作詞されていることありますが、熊本地震で被災された方の癒やしになればと願いながら奏でています。



「歌は世につれ世は歌につれ」という言葉通り、聴くとその時代を思い出す歌も少なくありません。復興曲も、悲しみを乗り越えて新しい生活を迎える歌として記憶しておきたいものです。

アイスランド（2016年2月7日～2月13日）

澤島 令子（33期 地文・北大路）

「お母さんアイスクリームの国がある！」幼かった娘が世界地図で指さした国はアイスランドだった。そんな昔の事を思い出しながら飛行機に揺られてアイスランドへ。

◎地球の裂け目 ギャウ

アイスランドは北海道と四国を足したくらいの面積で、北米プレートとユーラシアプレートに引っ張られ、年に1～2cmずつ国土が広がっている。地表で見られるのはここエチオピア付近だけという。このギャウ、狭い所は両側が切り立った崖のようで、2、3人がやっと通れるくらい、広い所は7kmもの浅い谷間になっている。この2つのプレートが、まわり、まわって日本の下でもぐりこんでいる。北海道から伊豆半島までが北米プレート、それ以西がユーラシアプレート、南からはフィリピンプレートがもぐりこんでいるのだから地震が多い訳だ。アイスランドも火山国で微弱地震はしょっちゅう起きているそうだ。写真の指さしている方角がユーラシアプレート。反対側が北米プレートになる。ここは不思議な自然だけでなく、なんと930年という昔に世界で初の民主議会（アルシング）が開かれた場所だそうだ。



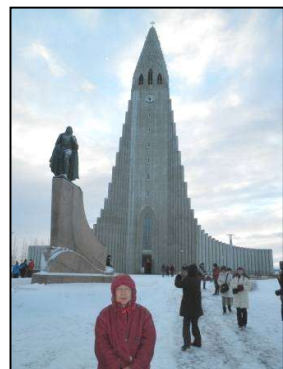
◎間欠泉 ゲイシール

火の国だけあって地熱がすごく、沸騰した湯が30mほどの高さに吹き上がるのが見られる。コンロの上のヤカンの湯が勢いよく吹き出すのと同じで、泉のような表面を見ていると、モコモコと盛りあがって、急にシューと吹き上がり、しばらくすると収まる。また盛り上がり・・・を約5分毎に繰り返す。この地熱を利用してレイキャヴィークの町の家々を暖めているそうだ。



◎オーロラ

アイスランドに着いた日は飛行機が遅れ夜中に飛行場を出たところで、添乗員が「オーロラが出ています」と叫んだ。小さい雲のようにしか見えなかったが、カメラには確かに緑色に映っていた。翌日、夜10時ホテルの裏側で毛布とイスを借りて待機（イスはプラスチック製なのでドシンと腰をおろすと壊れるとの注意を受ける）。30分程待ったが出ないので、オーロラコールがあるからと引き揚げ、ベッドへ。夜中の1時半コール。こちらではNorthern Lightと言うらしい。急いで上着などを着込んで、でも慌てて毛布は忘れ、裏庭へ。出た！！今回はまさに緑のカーテン。様々に形を変え、息もつかずに見入っていた。約30分の光のショーに酔いしれる。満足して部屋に戻ってベッドへボタンキュー。日本への帰路、フィンランドへ行った人と話したが、そちらは全く見る事ができなかったとか。オーロラを見に行くなら、晴れ男（女）の人と一緒に行くことをお勧め？はるか上空での光のショーなので、雲があったら見ることはできないので。そして頬がとっても冷たく、私はネックウォーマを目の下まで引き上げて寒さを防いだ。



◎レイキャヴィーク 世界最北の首都

冬のアイスランドには珍しく、良いお天気が続いていたが、この日は朝方小雪まじり。東西冷戦終結の米ソ首脳会談が行われた家はほんとにかわいらしく、雪の中にひっそりとたたずんでいた。この町のシンボル、ハトルグリムスキルヤ協会（舌をかみそう！）はアイスランドの南岸の柱状節理をモチーフにしたとか。見上げるばかりにそびえていた。

◎その他

北緯60度のアイスランド。どんなに寒いかと思ったが、メキシコ湾暖流が流れているおかげでそれほどでもなく、雪も屋根に5cmくらい。これは粉雪が乾燥して風に飛ばされるからのようだ。ただ、風が吹くと当然、体感温度は低くなる。

私とグラウンド・ゴルフ

松岡 克実 (32 期 健レク・北大路)

グラウンド・ゴルフとの出会いは、平成 21 年にレイカディア大学健康レクリエーション学科に入学し、クラブ活動のプレゼンテーションを聴いた時です。以前はゴルフを嗜んでいました。入社直後、上司に誘われたのがきっかけです。下手の横好きでしたが、約 30 年間続け、小遣いの大半をゴルフに注いだものでした。50 歳を過ぎて花粉症が酷くなると、ゴルフ場の杉の木を見ただけでくしゃみを催す様になり、ゴルフクラブを置くことにしたのです。



レイ大での体験入会を機に、グラウンド・ゴルフ部への入部を即決。その際、経験者で同じクラスの小西良一さん(堅田・故人)とご一緒だったので、とても心丈夫でした。在学中は、必修科目の授業のある金曜日に、霊園附属の練習場で月 3、4 回プレーする位でしたが、上級生で上手な方がいらして、羨望の眼差しで拝見したのを覚えています。

卒業後、小西さんから瀬田南クラブ長の田中豊信さんを紹介していただき、入会を希望したところ、快く受け入れて頂きました。同クラブは、大津の強豪クラブです。錚々たる会員の方々が名を連ね、私などは足を引っ張り、末席を汚すばかりでした。

1 年半が過ぎた平成 25 年 5 月、伊香立香の里の大津市協会月例コンペ(280 名余参加)で、驚くなかれ、私は優勝したのです。スコアーは確か 4 ラウンドでホールインワン 4 個の 68 打。2 位の方とは 1 打差でした。それから 1 年間はハンディ 10 がつき、成績は散々でしたが、1 年半後の平成 27 年 10 月、大石スポーツ村での月例で、奇跡が又もや起こりました。2 度目の優勝です。スコアーは、ホールインワン 2 個の 73 打で、これまた 2 位と 1 打差。頂いた 2 個の優勝記念楯を、大事に我が家に飾っています(右の写真)。



昨年度までは、月曜日にびわこ文化公園、火曜日・金曜日に瀬田南グラウンドで練習、第 1 水曜日は月例、第 2 水曜日は大津南部交流会、第 3 水曜日は大津中部交流会などの大会にほとんど参加していました。今年度は練習以外、大津市協会の試合には事情があって休んでいます。

グラウンド・ゴルフは個人競技なので、気楽に和やかに楽しめます。1 組 4～6 名で、ルールは極めて簡単ですし、道具も 1 万円前後で整えられるので、皆様、始められてはいかがでしょうか？レイカ大津では毎週金曜日の午後 1 時からびわこ文化公園で練習をしています。詳しくは健康部会へ問合せ下さい。

グラウンド・ゴルフと巡り会ったお陰で、瀬田南クラブを初めとした大勢の方々と親しくして頂き、充実した日々を送っています。レイカ大津でも、グラウンド・ゴルフの大会に、毎回、参加していますが、これからも続ける所存ですので、ご相伴の程、宜しくお願い致します。

わが町の歴史（緑の風と清流の里・大石）

西 勝太郎（34 期 健レク・石山南郷）

沿革

大石は瀬田川の水流によって開けたと言っても過言ではない。縄文式土器が瀬田付近にあり、石山寺には淡水産貝層で有名な石山貝塚などが発見され、また、大戸川改修時に弥生土器が分布していたことから、原始的な農耕文化が開けていたことが窺えます。併せて、昨年の「大石城発掘調査」で龍門町大石川周辺で鎌倉時代の遺物が数多く出土し、その付近で当時の生活が営まれていた事実が証明されました。近江は京都への玄関口に当たり、交通の要衝の地であった関係で、戦乱の度に大きな影響を受けたことが推察されます。しかも、大石は平安時代の始め、京都への道を守る意味で、相坂（逢坂）、竜華（途中）とともに「大石の関」が置かれたことを考えれば、京都、奈良、伊賀への間道として、交通上、軍事上の重要な意味を持っていたと考えられます。

また、瀬田川の水流は関ノ津を過ぎてから、山狭になり巨岩突出し、「鹿飛」、「米かし」と言った奇勝を作り出しました。特にその水辺にあたる「佐久奈度神社」は水と深い関係にあり「天下の祓所」として著名であり、以前は信楽川の麓に鎮座していましたが、天ヶ瀬ダムの建設により、現在の高台に移転したものであります。その他、市指定文化財「富川の磨崖仏」、中町の大石氏邸趾などの旧跡も各町に点在しています。その後、時代と共に幾多の変遷を経て、昭和 26 年に大津市に合併して地区発展への第一歩がきかれたのであります。



現在の状況

わが町大石は、南北に細長い地形で形成された大津市の南の玄関口として、大きく飛躍を遂げつつあります。30 年程前に、大規模開発が盛んに行われた頃に建てられた桜谷パークタウンが現在では 550 戸、6～7 年前に開発のグリーンハイツが 450 戸、旧来の 7 町で 540 戸と合わせると、約 1,600 世帯（5,100 人）の集落であります。この地は、風光明美をメインに、山あり、川ありの自然豊かな山村であります。瀬田川沿いには、広大なスポーツ村があり、野球、ゲートボール場、更には 20 面のテニスコートを備え、各種の大会なども開かれ、日々、老若男女が快い汗を流している姿に接しています。その付近には 70 人収容の介護老人施設もあり、また付近の高台には、宴会、宿泊可能なリバーヒル（前身はサイクリングセンター）もあり、日々賑わっています。



これからの大石

国の施策として一時凍結されていた「新名神高速道路」の建設が 7、8 年先の開通を目指して、付帯工事なども急ピッチで進められ、大きく様変わりしつつあります。完成は、平成 33 年頃と聞いておりますが、新しい高速道路がどのような形で完成するのか、交通アクセスは随分便利になることは間違いないと思いますが、半面、日々の生活面にどのような変化が起こってくるのか等、心配な面もあり複雑な心境でも有ります。

もう一つは、「新市民センター」の建設が確定し平成 29 年秋の完成予定に向けて事務手続きが始まりました。建設準備委員の一員として先進地への視察、検討会議などに参画し、思い入れもひとしおであり、一日も早い新市民センターの完成を念願するとともに、大石のさらなる発展の起爆剤になるよう願っています。

会員文芸

俳句

(二九期文芸)

瀬田 大坪石山

故郷は心象となり朧月

家中をひっくり返し更衣

比叡 岡田一也

男手に新玉葱の剥かれけり

蚊帳に寝て行く末までは思わざり

田 勝田幸川

純白の一帆水尾ひく春の湖

サングラス無頼を気取る一人旅

石山 久保貞邦

せせらぎに聞き耳立てる山法師

味噌蔵は信濃の匂ひ冷奴

川柳

(お題)「別れ」

(二二期・生活 梅景 宏)

しがらみの衣脱ぎ捨てマイウエイ先生

とママだけが泣く卒園式

(一般市民 竹吉 恭子)

さようならに移り香のせて飛んでゆけ

惜別に祈る思いは元気だね

(一般市民 浜口 幾子)

蓄えし愛を門出に贈る母

残り火を掻き回してる春の宵

(一般市民 芝原 操)

いつもいるいつもの人を見なくなり

老木にいのち吹き込む熟年離婚

(お題)「保育園」

(二二期・生活 梅景 宏)

児らの声騒音福音如何かな

保育園無人島ならいいのかい

保育園待機したままランドセル

川柳クラブは
本年3月を以っ

[会員動向]

会員数 大津支部会員数 (H28 年 6 月 15 日現在) 234 名

訃報 皇子山地区の青山 正様が 3 月 24 日に逝去されました。

昭和 3 年 1 月 2 日生まれで満 88 歳でした。

堅田地区の増田 泰男様が 3 月 30 日に逝去されました。

昭和 15 年 7 月 14 日生まれで満 75 歳でした。

北大路地区の加藤 貴美子様が 5 月 22 日に逝去されました。

大正 14 年 1 月 3 日生まれで満 91 歳でした。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

事務局からのお知らせ

7 月の執行役員会及び役員会の開催はありません。

8 月 2 日 (火) 執行役員会 生涯学習センター 9 時 30 分～

8 月 30 日 (火) 役員会 生涯学習センター 9 時 30 分～

9 月 2 日 (金) 執行役員会 生涯学習センター 9 時 30 分～

9 月 28 日 (水) 役員会 生涯学習センター 9 時 30 分～

広報部からのお知らせ

機関誌「かけはし」は年 4 回発行しており、今回は平成 28 年 9 月下旬の発行の予定です。

原稿締め切りは 8 月 29 日厳守です。投稿の要領は従来の通りです。なお、54 号には会員投稿の掲載はありません。内容は支部全体の活動、各部の活動報告と活動予定、各地域の活動を中心に編集します。投稿の要領はパソコンで作成される場合は、ワードで用紙は A 4、本文の字体や大きさは、MS 明朝体・12 ポイント、表題の文字の大きさは 14～16 ポイントと指定しています。

原稿の文字数は 1,200 文字以内を厳守下さい。

表題の下部に氏名(期生、学科・地区名)を記入下さい。又写真などがあれば是非添付して下さい。写真の返却を希望される方は、その旨を写真裏面にご記入下さい。

《原稿送付先》 自筆・ワープロ打ち原稿は郵送または FAX で

〒520-0052 大津市朝日が丘 1 丁目 15 番 15 号

大塚 庸行 宛 TEL・FAX 077-525-7338

PC メールは 佐瀬 章男 宛 sase@opal.plala.or.jp

西澤 勝 宛 benten-nishi@ares.eonet.ne.jp

[編集後記]

平成 28 年度の支部長はじめとする各役員が決定し、それに従って広報部もメンバーの入替えが行われました。会員各位には、読まれる・関心を持ってもらえる「かけはし」作りに努めたいと思います。

本部総会終了後に「SNS の普及とその留意点」の記念講演が行われました。経験のない事例に戸惑うとともに、高齢者をターゲットにした特殊詐欺がまだ広がりつつあります。改めて SNS という現代の必須道具・知識について知るとともに自衛しないといけない事を再認識致しました。

編集委員

岩田 和彦(志賀) 西澤 勝(唐崎) 福井 かおる(唐崎) 和田 紀久子(日吉) 大塚 庸行(打出)
住若 富子(打出) 釜淵 佳明(膳所) 松岡 克実(北大路) 脇田 進(石山南郷) 河嶋 文雄(石山南郷)
佐瀬 章男(瀬田北) 中村 健一郎(瀬田月輪) 栗田 昇(瀬田月輪)

レイカディア大学同窓会 大津支部会報 53 号(平成 28 年 6 月 23 日発行)

発行責任者 大津支部長 岩田 和彦

編集責任者 広報部会長 大塚 庸行